

(第1号様式)

平成27年4月30日

神奈川県教育委員会教育長 殿

県立小田原城北工業高等学校長

平成27年度学校目標設定報告書 (定時制)

次のとおり学校目標を設定しましたので報告します。

学校目標	取組の内容	
	具体的な手立て	評価の観点
<教育課程> 幅広い学習ニーズに対応する教育の展開	(1)工業高校に学ぶ生徒の幅広い学習ニーズに対応できる学習環境の整備と指導体制の充実を図る。 (2)生徒一人ひとりの力と意欲を引き出す、よりきめの細かい指導の実現に向けた少人数授業を実施する。	・ものづくりにかかわる諸活動や学習の内容を充実できたか。(成果物) ・実技科目での身だしなみ指導や、資格取得のための受験指導ができたか。(資格取得の受験者数及び合格者数) ・少人数授業を実施し、効果的な指導ができたか。(定期試験の結果)
<生徒指導・支援> (1)ものづくりを通しての人づくり教育の充実 (2)生徒一人ひとりに応じた教育支援体制の確立 (3)特別活動の充実	(1)工業にかかわる授業において、職業人に求められる規範意識や倫理観を醸成する。 (2)①生命の尊重、他者への思いやりなど道徳性を養い、生徒一人ひとりのニーズに応じた教育相談体制を確立する。 ②生徒の登校時における校門指導や、全職員による校内外巡視指導を徹底する。また、あいさつや遅刻指導、交通安全指導により、基本的生活習慣の確立と調和のとれた人間の育成を図り、規範意識やモラル向上に努める。 (3)職業人としての望ましい態度の育成に向けて、部活動や生徒会行事の活性化を図る。	・指導の取組み状況と生徒の行動観察。 ・多様な生徒に対して効果的な支援を行うことができたか。(教育相談やケース会議の実施状況) ・職員の共通理解と日常的な生徒指導が実践できたか。(遅刻の件数及び問題行動の件数) ・部活動や行事の目的を理解し、それぞれの役割を果たし、交流を深めることができたか。(参加状況)

<p><学習指導・授業改善> 確かな学力の定着と学習習慣の確立及び学習意欲の向上</p>	<p>(1)わかる授業をめざし、授業改善に向けて組織的に取り組む。</p> <p>(2)教科担当者が生徒の興味・関心を引きつける教材やエピソードを準備し、必要に応じて中学校の復習を取り入れながら基礎学力の定着を図る。また、プリント等を用いて作業をする力・考える力を育成する授業展開をめざす。</p> <p>(3)自らの健康や環境問題に積極的に取り組む姿勢を育てる。また、生活課題を解決するために必要な知識と技術を習得させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の授業改善に対する意識は向上したか。(生徒による授業評価) ・生徒が興味・関心を持って授業に参加したか。(ノート・プリントの作業内容、定期試験の結果) ・健康におけるさまざまな問題を解決し、自らの生活を省みることができたか。(生徒の出席状況や行動観察)
<p><キャリア教育> 豊かな人間性と社会性の育成</p>	<p>(1)工業各科と各学年団が連携し、生徒の進路希望に即したきめ細かなガイダンス、説明会を実施する。また、実習を含めたあらゆる授業の中で、キャリア教育に関する指導を行う。</p> <p>(2)インターンシップなどの機会を活用してキャリア教育の実践を進め、生徒が主体的に進路選択できるような指導の推進を図る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の進路に向けた意識の向上が図れたか。(説明会等での実施状況) ・生徒が主体的に行動したか。(インターンシップ等の参加状況)
<p><地域等連携> 開かれた学校づくりと広報活動の充実</p>	<p>(1)年2回の地域貢献活動を行い、地域とのつながりを意識させる。</p> <p>(2)各種学校説明会、授業見学会、文化祭などの公開行事を通じて工業高校としての本校の教育活動への理解を促進する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の意識の向上がみられたか。(活動の実施状況) ・各種説明会等の来場者数は増加したか。
<p><学校運営・学校管理> (1)安心安全な環境づくり (2)事故・不祥事の防止</p>	<p>(1)①工業教育に係わる施設設備をはじめとした教育環境の整備と安全指導の徹底を図り、教育活動中の事故の発生を防ぐ。</p> <p>②災害発生時に的確な対応ができるようにするため、これまでに構築した校内及び地域との防災体制をさらに充実させ、高い防災意識の定着を目指す。</p> <p>(2)事故防止会議などを通して職員の意識を高め、事故・不祥事の未然防止や課題の早期発見、早期解決に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教育活動中の事故の発生件数は減少したか。 ・地域と連携した防災訓練を実施することで、防災意識を高めることができたか。(生徒及び職員へのアンケート) ・教職員が日頃から声を掛け合うことで、事故・不祥事防止の意識を高めることができたか。(事故防止チェックリストの結果)

教育目標・教育方針・中長期的な方針など

(教育目標)

- (1) 中学校における教育の成果をさらに発展拡充させて、国家及び社会の有為な形成者として必要な資質を養うこと。
- (2) 社会において果たさなければならない使命の自覚に基づき、個性に応じて将来の進路を決定させ、一般的な教養を高め、専門的な技能の習熟に努めること。
- (3) 社会についての深い理解と健全な批判力を養い、個性の確立に努めること。

(教育方針)

- (1) 基本的な知識・技能を習得し、工業技術の科学的根拠を理解する。
- (2) 工業技術の進歩発展に寄与する能力を得るため、常に新たなる独創力を養うように努める。
- (3) 体力の増進に励み、規律ある礼儀正しい生活の実践に努める。
- (4) 協同して責任ある行動をする態度及び勤労に対する正しい信念を培い、工業人としての自覚を養う。

(中期的な方針)

- (1) 県西唯一の工業高校として地域産業を担う人材の育成を進めるため、専門教育の充実と生徒の進路実現を可能にする教育課程の工夫や改善に努める。
- (2) 基本的な生活習慣の確立や個に応じた支援体制の確立を進め、規律ある態度を育てる。
- (3) 各教科における基礎学力の定着を図るとともに、生徒一人ひとりの学習意欲の向上を目指した取組みを行う。
- (4) 生徒会活動および部活動の活性化を図り、生徒の自主的・主体的な活動を推進する。
- (5) 施設設備および人材の活用を進め「技術センター」として地域に貢献できる体制の確立を目指す。
- (6) 防災教育の充実を図り、地域との連携を踏まえた緊急時の対応を整備し、事故・不祥事の防止の徹底と危機管理体制の充実を図る。